## トレーシングレポート(服薬情報提供書)

大分記念病院 薬剤科 宛 FAX: 097-545-7216

緊急を要さないが情報提供が望ましいと判断された情報を処方医師へフィードバックし、情報の共有化および薬物治療の有効性と 安全性の向上を図ることを目的としています。**緊急を要する場合は電話で処方医へお問い合わせください。** 

	日 添付負料:□無 □有( 枚:ごの用紙を含む)					
処方医 先生	保険薬局あるいは施設名:					
患者番号:	電話番号:					
患者氏名:	FAX 番号:					
生年月日: 年 月 日	薬剤師名あるいは担当者名:					
この情報を伝えることに対して患者の同意を、 □得ています						
□得ておりませんが、治療上重要だと思われますのでご報告いたします。						
	青報について下記の通りご報告いたします。					
処方箋発行日: 年 月 日 調剤日: 年 月 日						
□薬剤継続の必要性について(ポリファーマシー等)	□服薬状況 □副作用(重篤でないもの)					
□他院処方(重複、相互作用)	□薬剤管理サマリー □オピオイド					
	□手技(□自己注射、□吸入薬、□その他)					
辛位	報 │□抗がん薬(□経口、 □注射) * 副作用を報告する際は CTCAE を用いて評価してください。 簡易的な評価シー │					
トを次ページにご用意しておりますのでご利用ください。 □その他( )						
告 情報提供・提案事項						
INTERIOR DE LA TIME DE						
内						
容						
病院への情報提供依頼(患者の同意有の時のみ)						
□検査値 □病名 □プロトコール □その他( )						
《大分記念病院記入欄》情報提供ありがとうございます。						
□報告内容を確認し、処方医へ報告しました。						
□次回より提案に沿った内容に変更します。 □提案の意図は理解しました。次回診察時に検討いたします。						
□その他 						
返信日: 年 月 日 記入者:						

## [主な有害事象一覧]

当院では有害事象の発現状況について副作用共通(CTCAE Ver.5)を用いて評価を行っております。抗がん薬に関するトレーシングレポート作成の際にご利用ください。

有	害事象	該当	グレード 1	グレード 2	グレード 3
なし					
消化器症状	悪心		□食事に影響のない食	□体重減少、脱水または栄養失調を	□経管栄養や TPN の使用を検討
			欲低下	伴わない経口摂取量の低下	し、入院治療を要する
	嘔吐		□経過観察	□外来にて点滴治療を要する	□経管栄養や TPN の使用を検討
					し、入院治療を要する
	食欲不振		□食事に影響のない食	□体重減少、脱水または栄養失調を	□顕著な体重減少または栄養失調
			欲低下	伴わない経口摂取量の低下	を伴う
				経口栄養剤による補充が必要	経管栄養・静脈栄養・TPN の投与
					を要する
	口内炎		□軽度であり治療を要さ	□経口摂取に支障はないが中等度の	□高度の疼痛があり経口摂取に支
			ない	疼痛・潰瘍があり食事の変更を要する	障がある
	味覚異常		□食事に影響がない	□食事への影響がある (味の消失・不快な味覚)	
	下痢		□4回/日の排便回数	□4~6 回/日の排便回数増加があり	□7回以上/日の排便回数増加が
			増加	身の回り以外の日常生活動作が制限	あり入院を要する。または身の回りの
				<b>ೆ</b> ಗಿತ	日常生活動作が制限される
	便秘		□不定期または間欠的	□緩下剤または浣腸の定期的使用を	□摘便を要する頑固な便秘があり身
			な症状があり便軟化薬/	要する持続的症状があり身の回り以外	の回りの日常生活動作が制限される
			緩下薬/食事の工夫/浣	の日常生活動作が制限される	
			腸を不定期に使用する		
全身	倦怠感		□だるさがあり、活気が	□身の回り以外の日常生活動作を制	□身の回りの日常生活動作を制限
症状			ない	限するだるさがあり、活気がない	するだるさがあり、また活気がない
神経	しびれ		□症状がない	□中等度の症状があり、身の回り以外	□高度の症状があり、身の回りの日
症状				の日常生活動作の制限がある	常生活動作の制限がある
	息苦しさ		□中等度の労作に伴う	□極めて軽度の労作に伴う息切れが	□安静時の息切れがあり身の回りの
			息切れがある	あり身の回り以外の日常生活動作が	日常生活動作が制限される
				制限される	
	動悸		□軽度の症状であり治	□治療を要する	
			療を要さない		
循環器症状	血圧異常		□収縮期血圧	□ベースラインが正常範囲の場合は収	□収縮期血圧≧160 または
			120~139	縮期血圧 140~159 または拡張期	拡張期血圧≥100
			または拡張期血圧	血圧 90~99	内科的治療を要する
			80~89	ベースラインで行っていた内科的治療の	
				変更を要する再発性または持続性	
				(≧24 時間);症状を伴う>20(拡張	
				期血圧)の上昇または以前正常であっ	
				た場合は>140/90 への上昇;単剤	
				の薬物治療を要する	